

スポーツクラブに通い始めました。

防衛医大の穂苜量太です。みなさまお久しぶりです。生物兵器？の噂もあった新型ウィルスとの闘いもようやくおちついてきて参りました。見えない敵との戦いは思ってたより長かった。。ですよね。人と人との交流の大切さを身にしみた矢先、今度は大陸の西の方で通常兵器の大花火。これってコロナ疲れの大反動なんでしょうか。いやはや普通の生活が戻るのにはまだまだ時間が必要ですね。

非日常が続く中、思いがけず嬉しかったのは自衛隊や防衛医大を有難がって頂く報道を目にすることが増えたことです。そこでコロナ渦で親近感を感じていただいた防衛医大のご紹介に今回は紙面を頂戴いたします。自分は三浦総一郎先生にお誘い頂いて防衛医大に来ましたのは1999年であり、かれこれ防衛省からお給料を頂いて20年を超えた恩義がございますから、どうしても鼻眞目になるのはお許しください。

制服と白衣

防衛医大に勤務してから一番受ける質問は「階級は何になるの？制服は陸空海で違うんでしょ？」と言われます。防衛医大卒業生（医官）の階級については優遇されていると感じます。実際、順調にがんがん昇進していきます。まず、卒業後の研修医になる時点で二尉（トムクルーズ扮するマーベリックやホワイトベース艦長のブライト中尉と同じ）になります。これ、凄くないですか？しかし、ブライト中尉であろうとシロウトだろうと、いったん研修医になってしまうと彼らを待ち受けるのは過酷な昔ながらの研修医生活です。世間では医師働き方改革を目前にして研修医生活が緩くなったと伺いますが、なんでも防衛省には労働法は及ばないんだとか、。確かに、戦場で部下に働き方を振りかざされても冗談にならないですよ。そんな黒い聖域を生き抜いた彼らも、2年間の初期研修を終えて部隊に行くと、いきなり天地がひっくり返った様に沢山の部下を抱えることになります。一説では靴磨き担当がつくということです（真偽未確認）。海上自衛隊勤務の医官は部隊配属では当然船医として軍艦に乗ることになります。1隻に多くて1人の船医しか配属されないので大変丁寧な待遇して頂けるようです。たとえば食事は艦長さんらの幹部と一緒に、白いクロスが敷かれたテーブルのある個室でナイフフォークで頂く様です。（金曜はカレーなのでスプーンですね）。また、大学院生のことを防衛医大では研究科生と言いますが、大学院在籍中におおかた三佐（少佐）に昇進し、卒業後には二佐（中佐）になっていきます。さらに昇進するとどんな待遇になるのでしょうか？この辺りに来ると、部隊に行っても訓練で船に乗る機会が少なくなります。何故かというと、部隊のヒエラルキーがあるからに他なりません。日本の誇る、潜水艦の艦長さんはだいたい2佐、日本の盾を担うイージス艦艦長が1佐か2佐です。部隊では自分より階級の上の人を部下にできないので、二佐まで昇進してしまうと補給艦や潜水艦にはもう乗れなくなってしまうわけです。

さて、本題の自分の身分はどうでしょうか？ 残念ながら自分には階級は高い低いどころがありません。着る制服もありません。立ち位置は自衛隊員を指導する「教官」という身分

になります。トムクルーズ扮するマーベリックのお相手役のケリー・マクギリスの様なもんだ と言えばピンと来るでしょうか？いやいや来ないですよね。矢吹丈に対する丹下段平とでも言いましょうか。自分らはいくまで教える立場なので操縦桿を握って空を舞ったりリングに上がるチャンスは頂けず、あくまで支える立場に終始します。したがってコードネームもユニフォームも付与されていないわけです。ただ、民間人から制服組に転換される方が稀にいらっしゃいます。またあって欲しくないですが有事の際には自衛隊の枠組みに組み入れられると就職した時に言われました。そのような際に、およそどの階級に組み入れていただけるかという目安があるようです。それに照らし合わせると自分はどうやら1佐(昔でいうところの大佐)になるようです。あんまり大学院生と差がありません。1佐というと、ジオン公国軍ではマ・クベとか、赤い彗星シャアなど。コアなところでラピュタのムスカ大佐、リアルだとリビアのカダフィ大佐などでイメージわきますでしょうか？皆様、どう思われたか気になりますが、自分としてはそこそこの身分ではあるが、上には上がいる微妙なところ、という感じとってます。お気づきと思いますが、大学院生が3佐や2佐にポンポンとなり、大量の佐官が毎年の様に量産されているわけです。多いということは待遇もそんなに特別なものは期待できません。ですがここから先、佐官より上の昇進は難易度が極めてあります。また人数も急に絞り込まれます。医療系では病院長になると将補レベルになり、待遇が明らかに上がるようです(高級幹部ポストと言います。送り迎えの黒塗り車つき)。そして医療系の最終ボスキャラは学校長ですが、いわば將軍であり、パレードの先頭でオープンカーに乗ることができます(注:パレード:隊員が行進し、戦車や装甲車が隊列を組む、アレです)。

鳥海体験試乗記

防衛医大のお誘いを頂いた時の最大の心配事は(T4乗れるかな?注:ブルーインパルスに用いられる飛行機)(潜水艦乗るには有給何日要るのだろうか?注:行き先は機密情報なので出航前は知らされない。いつ帰れるかも知らされない。)(90式少しくらいは運転させてくれるかな?注:1つ前の戦車。昔は簡単に乗せていただけとか)などでした。最近では乗り物好き男子が減り、車に無駄にお金を落とすのは50代くらいなどと妙な噂も聞きますが、自分は乗り物好きとしては平均的な同世代程度またはほんの僅か上とっております。お若い先生方、我々世代の価値観を理解できないでしょうか?しかし着任当初の特権階級チックな潜水艦乗船の夢は20年経ちましたがまだ叶えられておりません。原因は高級幹部ポストに程遠いためとわかっております。しかし強運にも日本の盾、イージス艦に乗れる機会を頂戴したのでご紹介させていただきます(ちと自慢あり、機密情報の漏洩はなし、閲覧注意不要の内容です)

観艦式

海上自衛隊の艦船による軍事パレードで、この日はごく一部の艦船を除いてほとんどの海自の艦船が駿河湾沖に結集します。当日は防衛力が極めて手薄になる危険な日でもありま

す。日本海軍最後の観艦式は昭和15年に横浜沖で行われ、参加艦船98隻、飛行機527機と記録が残っています。戦後は一般市民も公募で上艦できるようになりました。現在は3年に一度行われますが、2015年を最後に、東日本台風(19号)来襲による中止やコロナ渦のため行われておりません。

チケット入手

書面で応募の上、国民への自衛隊活動の広報という目的から厳選な抽選が行われます。しかし将来の自衛官募集につながるべく、中学生には特別に当選確率が高くなっていると耳にしています。当選した際は券が自宅に郵送されますが、上艦できる艦名は記載があるものの、名前は券には明記されていません。したがって本人参加が難しくなった場合に人手に流れても券は効力を発揮し続けます。自分の参加した2015年には某オークションサイトで1枚8万円の価格で取引された例があったようで社会問題になっていました。自分は、神頼みが功を奏し、妻と2人で当選しました。もちろん厳選な抽選の上でございます。

観艦式会場

42隻の艦船がパレードしますが、相模湾沖の陸から何海里も離れた洋上で行われ、陸から見ることできません。見学専用の船に乗るわけではなく、パレードを行う海上自衛隊の現役護衛艦に乗りこんで参加する形式です。観閲式であれば戦車に乗り込む様なものでしょうか。印象としては取材に入った、みたいな感じです。これだけの数の艦船なので木更津、横浜、横須賀の3つの港に分かれて出港します。自分は木更津発でしたが、港におさまりきらず、横付けに3隻並んで停泊していました。

イージス艦ちょうかい

どの船に乗船できるのかは選べないのですが自分は金剛型イージス艦4番艦(176)のちょうかいと言う船に乗ることになりました。ちょうかいの名前は大战で活躍した重巡洋艦鳥海から受け継がれたものとのことです。ご存知の方、いらっしゃいますでしょうか？自分は不勉強で知らなかったのですが、ディスプレイ用がアオシマやフジミで出ている他、田宮からも絶版ですが作られていました。ウォーターラインではなくモーターライズもの、当然小鹿田宮時代の一品です。鳥海は足の速い船で第二艦隊の旗艦を務めるなどしながら、マレー、ソロモン、マリアナ、レイテなどいくつもの海戦を潜り抜けましたが、昭和19年に沈没してしまったそうです。

さて、いよいよ乗船です。タラップを登っていくと港の係員が日の丸を振りながら出航を盛り上げており、いやがおうにも気分は高まりました。気分はテーマパークのマークトエーン号乗船と大差がない感じです。「いってらっしゃーい！(笑顔)」に見送られてステップイン。乗船すると、自衛隊員がまるで観光スポットのガイドさんのような優しい口調で手際良く案内をされており、艦内に誘導して頂きました。普段からこんな口調で会話されてる筈はないので違和感があります。怖い体育の先生に卒業後に挨拶に行ったら敬語を使われた、みたいな。少し落ち着いて周囲を見渡すと、一般客の年齢層は初老の方が大半でした。入隊勧誘被対象者の筈の中学生や、8万で落札した一眼2台ぶら下げた中年マニア、艦コレ大

好き女子でゴった返すのでは・という予想は思い切りハズレました。案内されたのは船室ではなく広めの通路でしたが、窓が全くなく、雰囲気は地下室っぽく、閉ざされ感に満ちていました。少しづつ軍用船の内部に閉じ込められた感が湧いて参りました。「まもなく出港します」のアナウンスが入り、エンジン音が高まります。低めのディーゼル音を予想していましたが意外なことに高周波の音がします。ごっつい船体のくせに振動もほとんどしません。ジェット機？まがいの音にも感じましたがそれもそのはず。ちょうかいのパワーユニットはタービンエンジンで、しくみの原理はジェットエンジンと同じ様です。気になる出力はなんと 10 万馬力（本当）とのこと。他の乗り物でいうとドリームライナーBowling 787 は 5 万馬力の GENx を 2 機備えてますから、馬力は同等になります。羽さえあれば飛べちゃうぞ！とも言わんばかりのパワースペックでしたがモーターボートみたいな G はさすがに感じませんでした。

パレードの始まりと内容

窓のない船内に閉じ込められていたのは出航の時だけで、その後は甲板に出て東京湾クルーズを満喫しました。前を見ても後ろを見ても斜め後方にも護衛艦が並ぶ光景は圧巻ですが、途中普通に漁をしている漁船群にすれ違いました。漁船から見る観艦式ツアーなるものがないか後で探しましたが、WEB 上では見つからず、多分本当に漁をなさっていたのだと思います。

3 時間ほどのクルーズで相模湾沖近くに来ると、横浜や横須賀出発の艦船が合流してさらに隊列が増えて来ます。海域に到着すると、いよいよ艦隊によるパレードがはじまります。1 キロ程度離れて 2 列で船を進ませ、先頭は U ターンして 2 列の真ん中を逆方向に行進する形をとります。空母議論で賑わせた「いずも」を間近で見ることができました。うずしお等の最新鋭潜水艦は、急速潜航直後に急速浮上をして艦首を海面から飛び出させるアクロバットをしてくださります。ドルフィン運動という名前がついてる様です。乗組員、中でどうなっちゃってるんだか心配になりました。海外からの艦船も訪れます。アメリカ最新鋭空母、ロナルド・レーガンは海上で見ても巨大でした。また P3C をはじめとする海自所属の航空機のみならず、ブルーインパルス展示飛行もあり、プチ航空祭も同時開催してくださいました。帰路は甲板で自衛隊員による手品やパントマイムをみつつ平和な 1 日を満喫いたしました。

最近思うこと

自分が参加した観艦式は 2015 年ですので 7 年前になります。最新鋭の軍事技術を垣間見て、子供の様にはしゃいだのを思い出しましたがそれからずいぶん世の中が変化した気がいたします。防衛費 GNP の 2% への増加論や、国防強化を是認する声が高まり、その一方で、平和に疑いのない世界からずれて来ている気が致します。（個人的には医大の予算が増えるかもとちょっと期待しています。）むしろ新型コロナが猛威を奮っていた頃は、ワクチンの無償供与やら人道支援など、世界共通の敵に対して一致団結 仲良くしていたのに皮肉なものです。さて、ここに来て自衛隊関連で新しいニュースが報じられました。「自衛

隊、宇宙作戦軍発足」！ つ、ついに地球侵略をもくろむ宇宙人との戦闘を任務とする部隊ができたのか？ 共通の敵を前に、世界は一致団結の時？ それと、大事なことは自衛隊宇宙船による観艦式ならぬ観宙式が行われる日が来るのも夢ではないのではないのでしょうか？ 10年後は無理としても 20 年後、30 年後には宇宙船は普通の乗り物になっているかもしれません。せっかくそんな時代になって観宙式の乗船券が当たった時、よぼよぼで乗船拒否されるのはなんとしてでも避けたい。そんなわけで、急に週末スポーツクラブに通い始めました。長生きしてまだ見ぬ予想だにしない未来、再生医療も AI も ナノテクもロボットもごく一般的になり、我々が考えつかない次世代最新医療が始まっていることでしょう。実は、スポーツクラブに行かないでも次世代テクノロジーで安易に健康でいられるのかもしれませんが、。

次のリレーエッセイは高尚な内容とかけ離れすぎてしまった今回の内容（三浦先生申し訳ございません）に反省をして、アカデミアで大活躍中の先生が良いのではないかと思います。そこで、同級生で大学時代良き遊び仲間ながら、現在はがつつり脂の乗り切って厚労省の IBD 難病班班長で日本を引っ張っている久松理一教授にお願いしたいと思います。それでは国防の任務のために撤収させていただきます。敬礼！